

「信濃教育」目次集

毎号に登載したもの

- ・口絵「今、教師や子どもは」
- ・本会の動き（前月分）
- ・インフォメーション
- ・編集後記

〔標 題〕

〔筆者名〕

四月（一五〇五号）

巻頭言 視野

巻頭提言 二十四年度の出発に当たって思うこと

―過去も未来もここに在る― 後藤 正幸

△テーマ 私が大事にしたいこと、こだわりたいこと▽

「ほんとうの幸い」を願いながら

宮島 卓朗

思考力を育てるには―国語の授業実践から―

水野 力

私が大事にしたい授業

北澤 孝郎

思考力・判断力を育む言語活動のあり方―歴史分野における「学び合い」を通して―

山田 哲久

子どもが何と言えればよいかを、教師がはつきりと持っていること

五味 隆

自己に問い続けながら

牧野 圭介

教材づくりで心がけたいこと 依田 俊一

良いものは良いと直感的に感じて

西澤 真一

美術で思考・判断・表現の力を育成するため

に 藤本 信彦

世界に誇れる日本らしさを育て生徒の意欲を

生かす体育の授業づくり 三村 徹

生活への関心を引き出す家庭科学習の実践―

「住まいの学習」に視点をあてて― 小口 博子

家庭での実践を生み出す授業づくりを目指し

て 熊谷有紀子

ものづくりを通してはぐくみたいこと―技術

を適切に評価し活用する能力と態度の育成―

宮沢 芳明

瞳が輝く授業づくりをめざして…

松島 千尋

小中接続の試行を通して感じたこと（外国語

活動から英語へ）

藤村 祥江

道徳の授業で大切にしたいこと 綱川 直喜

「総合的な学習の時間」の活動をより生徒の

意識に沿ったものにするために考えたこと

久保田 聡

人間教育と自己分析

池田 圭吾

五月（一五〇六号）

巻頭言 若葉

△テーマ 稲垣忠彦先生と出会い学んだこと▽

信濃教育会教育研究所所長 故稲垣忠彦先生

を偲んで

後藤 正幸

亡き友が示してくれたこと 寺崎 昌男

稲垣先生と出会い、学んだこと 佐伯 胖

鼎談 稲垣忠彦先生と信濃教育会教育研究所

「現職教育」に捧げた気骨の人▽

田中 妙子

久保田ひろ子

直江 寛志

稲垣忠彦先生から学んだこと

佐藤 学

稲垣忠彦先生から学んだ研究者の姿

富田 福代

信濃教育会教育研究所におけるカンファレン

スの理念と方法―稲垣忠彦先生から学んだこ

と― 佐久間亜紀

「いなっせ」より発信を―授業研修会―

遠山 裕夫

子どもの内に問いが生まれる授業づくり

佐藤 俊彦

稲垣先生から学んだこと

田畑 昭彦

稲垣忠彦先生と出会い学んだこと

篠崎 元嗣

約束は夢のままで…

新井 篤子

教師が自律すること ―稲垣先生と出会い学

んだこと― 甘利 秀也

生活科と出会って

小山あさは

海を越えて

仲村 信治

私が尊敬する 小説や映画の中の先生

小木曾雄亮

いい社会をつくりましょう

中澤 純彦

一筋の道を歩み続けて

中澤 洋子

新たな出会いの中で

高見澤津久美

生活のニオイ

西沢 幸子

「出会い」を求めて…吉田 修一「悪人」

―現代小説に見る人間の生き方(1)―

岡田 勝明

稲垣さんの近くをかすめて

堀内 義

靴が教えてくれたこと

小野 玲子

六月（一五〇七号）

巻頭言 体験

巻頭提言 学力をめぐる実践課題

児島 邦宏

△テーマ 学力問題を考える 3▽

美しい論理力

藤森 裕治

学び合い高め合う学級を目指して

宮澤 雅法

文章問題を『何とか解いてみよう』と思える

ために 涌井 正彦

学力問題を考える―「学級経営と授業」の改

善を通して学力を向上させる― 伊東 睦実

神々の棲む里、遠山郷

かけがえのない出会い

代田 則子

本当にそれでいいのか

萩原 忍

喜びを味わうために

大日向一恵

共に学び合う楽しさを求めて

森 信幸

子どもたちと今日も共に歩む

松田 真理

私の出発点

花井 嘉夫

問い続けたい問い―「関係」ということ―

雑誌図書編集部

言葉はとどくのか…町田 康『告白』―現

代小説に見る人間の生き方(2)― 岡田 勝明

「ことば」の宝物をいただいて 淀 恵子

農家の朝に「びったり朝食」…学校から地域

へ、健康を発信しよう… 新海 弘文

七月（一五〇八号）

巻頭言 日連教

巻頭提言 学びに確かさと豊かさを

清水 静海

△テーマ 学力問題を考える 4▽

統 美しい論理力

藤森 裕治

子どもが学ぶ力や学ぶ意欲を伸ばす―初めて

の小学校勤務から思うこと― 佐々木英明

子どもたちの科学・理科好きや自然を追求す

る素地の育ちを目指して 藤森 斉

諏訪南中学校英語科の取り組み 滝沢 研

「書くこと」が育むもの―学級・教科・領域

指導の中で私が大切にしてきたこと―

田中 清一

『雲海』が「感動する心」を教えてくれた

矢島 勝義

フィンランドの教育 ―「安心と共同」の学び―

平成二十四年度 事業計画概要
講演会

不適応不登校生徒支援の取り組み
山邊 久史

私の尊敬する先生方

小祝 慶子

ことばは、子どもは、どう育ったか―大村はまの国語教室―

不登校への取組―ささやかな積み重ね―

子どもと共に

関屋 元紹

まの国語教室―

荻谷 夏子

気がつけば 特別支援教育 三十年

上原 啓子

パネルディスカッション

『生徒にとってみり多い学校生活の創造』を目指して

不思議な足し算 完璧な掛け算

池田 昭子

学びづくりと関係づくり―学び合い、学び続ける教師―

詩境の地で

三年間のあゆみ―本場の厳しさ―

船崎 美穂

岩川 直樹

小国 喜弘

金井 勝久

富士山を見つめて

子どもたちへ

南部 志保

大熊 望

大倉 嘉郎

竹松 亨

チームを支えられて：「丸前角向こう」おもてなしの心を今に伝える

ほんとうに大切なもの：カズオ・イシグロ

児玉 淳子

閉会のあいさつ

総集會日程

総集會の記録

藤田先生の教え―大縄から伝わるあの感覚―

『私を離さないで』―現代小説に見る人間の生き方(3)―

岡田 勝明

藤澤 陽子

北條 由美

後藤 正幸

中一ギャップを乗り越えて

挨拶の響き合う学校・地域に

藤澤 陽子

北條 由美

後藤 正幸

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

かえるさんってすごい！

北條 由美

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

八月（一五〇九号）

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

九月（一五一〇号）

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

巻頭言 原点

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

〈特集 第六十六回 信濃教育会総集會〉

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

人から人への信濃教育会をめざして

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

荒深 重徳

下條 みつ

呂上 豊美

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

来賓祝辞

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

十月（一五一二号）

後藤 正幸

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

巻頭言 胸を張って

長沼 豊

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

巻頭言 学校と地域の連携―つながりが生み出す新たな価値―

長沼 豊

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

〈テーマ 小・中・高の連携について考える〉

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

小・中・高の連携の在り方

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

小規模小中併設校のよさをいかした小中連携のあり方―小学校児童会と中学校生徒会の連携を通して―

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

「生きる力」の再考

安彦 忠彦

倉澤 啓

倉澤 啓

倉澤 啓

閉校する学校を訪ねて

出会いに感謝して
子どもの思いに寄り添うために
私の尊敬する先生
これから大人になる子どもたちに今伝えたい
こと
子どもの将来を思う
感じて表現すること
自分の背中
時間のなかの自己：丸谷才一『輝く日の宮』
―現代小説に見る人間の生き方(6)―
岡田 勝明
雑誌図書編集部
田口 広幸

一月(一五一四号)

巻頭言 先輩と後輩
巻頭言 今こそ、真に「自立」を目指す特別支援教育に
△テーマ 全の子ともに支援を―特別支援教育を考える―
すべての子どもたちの教育的ニーズに応えるために―インクルーシブ教育時代に求められる「商店街型」の専門性―
高木 潤野
皆と一緒に体を動かしながら、生きる力を身

中野西高等学校
上田 美穂
堀米 英徳
上條 健志
服部 直幸
橋本 郁子
林 のぞみ
八木澤菜央
岡田 勝明
雑誌図書編集部
田口 広幸

につける学習を通して
その子の困り感に寄りそった支援をめざして
将来の生活を見通した支援の具体
特別支援教育委員会
第一グループ
第二グループ
『ものづくり』をとおして
わたしの先生生活
私が目指す教師の礎：恩師の言葉から
教師として目指したい姿
六年前を思い返して
特別支援教育と一年生と我が娘と
柳澤 正典
雑感「日々是好日」―特別支援教育に携わって―
Believe in me：村上春樹『1Q84』―現代小説に見る人間の生き方(7)―
岡田 勝明
人に対する積極的な行為としての形
閉校する学校を訪ねて
信濃教育会「生涯学習講座」
「信州心の詩」3 送られて別れの果ては何

小林 光希
岡澤千代子
特別支援教育委員会
第一グループ
第二グループ
『ものづくり』をとおして
わたしの先生生活
私が目指す教師の礎：恩師の言葉から
教師として目指したい姿
六年前を思い返して
特別支援教育と一年生と我が娘と
柳澤 正典
雑感「日々是好日」―特別支援教育に携わって―
Believe in me：村上春樹『1Q84』―現代小説に見る人間の生き方(7)―
岡田 勝明
人に対する積極的な行為としての形
閉校する学校を訪ねて
信濃教育会「生涯学習講座」
「信州心の詩」3 送られて別れの果ては何

二月(一五一五号)

処へ：芭蕉『更科紀行』を中心に「《前編》」
岡田 勝明
巻頭言 「ふるさとの大地」
巻頭言 揺るぎない全人教育の実践を子ども
の「心豊かに自らの生活を切りひらく力」の
育成―
△特集 長野警署の職員「子どもの育ちをどう考えるか」
浅間中学校区四校(浅間中学校、岩村田小学
校、中佐都小学校、高瀬小学校)における小
中連携の取り組み―九ヶ年を見通した学力向
上支援を目指して―
市川 英臣
学級の学習力を高め、個の力を高める―子ど
もが追究する学習の実現を目指しながら―
誠実さが学力向上につながる―あいさつ運動
を中心とした、明るくさわやかな校風づく
りを目指して―
宮井 光広
基礎の力をつけていくことで学力向上へ
子どもたちとのかかわりの中から
「個の主体性の確立」を軸にして共同性を育

む
塚田 量
小林 栄子
柳川 哲郎
工藤 忠好
進化していくわたしの目指す人間像―自然エ
ネルギーを利用する活動を通して―
渋谷 孝信
子どもと共に創り上げていくこと
望月 道夫
花づくりを通して心の教育を
太田 典孝
子どもの育ちをささえるもの―小中一貫教育
校における取組―
信濃町立信濃小中学校
わかる授業の実現と確かな学力の向上を
森本 浩正
この地で生きる力
中野 潔
自分を語れる子どもたちに
三ッ井千恵子
高い学力・広い視野・強い意志―諏訪清陵高
等学校附属中学校(仮称)全体構想―
佐倉 俊

三月(一五一六号)

巻頭言 担任の先生
巻頭言 災害への備えと防災教育について
△テーマ 三・一一三・一二を忘れない
二本のさくらが繋ぐ絆―伊那市立東部中学校
生徒会「さくらプロジェクト」―
子どもたちの笑顔のために学校の力 結果！
被災地 いわき市立豊間中学校との交流を通
して学んだこと
心ひとつに われら戸倉小―南三陸町立戸倉
小学校との交流活動を通して―
大滝 仁
△テーマ 自主的活動を進めて
学びの思いを持ち続けること
床に向かって
下伊那教育音楽研究会 発表演奏会について
子どもを見つめ、自分を見つめ、子どもを語
る仲間とともに
ふるさとに出会い直す ―大鹿村での四年間
から―
野口 隆徳

Aくんととの三年間
私の尊敬する先生
「じっちゃんの名にかけて」
―ひたすら教師の道を歩んできた思い―
願いの連鎖 ―私の場合―
「子は教師の鏡」
「精神と生命」の源流へ：大江健三郎『水
死』―現代小説に見る人間の生き方(8)―
閉校する学校を訪ねて
「二人の母親」
信濃教育会「生涯学習講座」
「信州心の詩」3 送られて別れの果ては何
処へ：芭蕉『更科紀行』を中心に「《後編》」
岡田 勝明
小池 智博
北原 利雄
笠川 雅文
和田 邦彦
岡本 健郎
元山 雄三
岡田 勝明
雑誌図書編集部
藤澤 陽子
岡田 勝明